



わり算の筆算 (1)

除法の計算を用いること

組	番
名前	

つなみ
津波が来た時にひ害をうける地いきをしめしたものに、「津波ハザードマップ」というものがあります。
今、94部の津波ハザードマップを、5さつずつの束にまとめました。
この束は、いくつできますか。また、何部あまりますか。
筆算で計算しましょう。



☆ポイントチェック☆

「津波ハザードマップ」には、避難ばしょや地いきをおそう津波の予想高さなどが書かれている。



わり算 (2)

除法の計算を用いること

組 番

名前

156人の子どもたちが、4台のバスに乗って防潮堤^{ぼうちようてい}の見学に行きます。

4台のバスに一台のバスに何人ずつ乗ればよいでしょうか。筆算で計算しましょう。



☆ポイントチェック☆

あてはまる言葉を「○」でかこみましょう。

防潮堤のある地域での津波避難^{つなみひなん}は、
防潮堤の近くでよい ・ 防潮堤があっても高台まで行く



わり算の筆算 (1)

除法の計算を用いること

組	番
名前	

つなみ
津波が来た時にひ害をうける地いきをしめしたものに、「津波ハザードマップ」というものがあります。

今、94部の津波ハザードマップを、5さつずつの束にまとめました。

この束は、いくつできますか。また、何部あまりますか。

筆算で計算しましょう。

18束
あまり4冊

$$\begin{array}{r}
 18 \\
 5 \overline{) 94} \\
 \underline{5} \\
 44 \\
 \underline{40} \\
 4
 \end{array}$$



地域に襲来する津波の高さを示した「津波ハザードマップ」の存在、市町村から各家庭に配布されている場合は、家族全員が確認しておくことが必要であることをご指導ください。学区の想定津波高さも授業中に合わせてご確認ください。地域によっては、津波だけでなく、洪水や土砂災害のハザードマップも発行されています。

☆ポイントチェック☆

ひなん
「津波ハザードマップ」には、避難ばしょや地いきをおそう津波の予想高さなどが書かれている。



わり算 (2)

除法の計算を用いること

組	番
名前	

156人の子どもたちが、4台のバスに乗って防^{ぼう}潮^{しょう}堤^{てい}の見学に行きます。

4台のバスに一台のバスに何人ずつ乗ればよいでしょうか。筆算で計算しましょう。



39人

$$\begin{array}{r}
 39 \\
 4 \overline{) 156} \\
 \underline{12} \\
 36 \\
 \underline{36} \\
 0
 \end{array}$$

津波の被害を軽減するためにある

「防^{ぼう}潮^{しょう}堤^{てい}」の存在をご指導ください。

中には10mを超える大きな防^{ぼう}潮^{しょう}堤^{てい}もあり、

被害抑制に期待がかかりますが、「防^{ぼう}潮^{しょう}堤^{てい}があるから

逃げなくても良い」と過信は禁物で、あくまで被害軽減策の一つとして考えるよう合わせてご指導ください。

☆ポイントチェック☆

あてはまる言葉を「○」でかこみましょう。

防^{ぼう}潮^{しょう}堤^{てい}のある地域での津波避難は、
防^{ぼう}潮^{しょう}堤^{てい}の近くでよい ・ 防^{ぼう}潮^{しょう}堤^{てい}があっても高台まで行く ○